

広陵町の公共交通に関する住民アンケート調査結果(速報値)の概要について ①

実施概要

目的：町内で運行している各公共交通について、効果的・効率的な運行を検討するため実施
 調査期間：令和3年11月19日（金）から12月3日（金）までの15日間
 調査方法：郵送による送付・返信（町内にお住まいの2,000人（15歳以上無作為抽出））
 回答者数：901人（回収率45%:12/13時点）※今回は速報値として431人分の集計を報告します。

回答者属性

- 自動車が主な交通手段 自身で自由に運転できる車をもっている人は76.7%
- 運転免許返納意向が低い 自主返納していない人は全体の84.1%で、自主返納する予定がない人は69.4%
- 歩行可能距離は2kmまで 目的地までの歩行可能距離は、2km以上が10.4%、2km未満が88.8%で、概ね2kmまでなら多くの人が歩くことができると回答している。
- スマートフォン保有率は8割以上 スマートフォンを保有している人は85.1%。よく利用する町内を運行する公共交通のWeb情報は経路探索サイトで39.4%。
- ネット通販の利用は64.9% ネット通販をよく利用する人は24.9%、ときどき利用する人は40.0%で、計64.9%の人がネット通販を利用している。

公共交通利用

●公共交通利用者が少ない 鉄道利用者に関しては、週1回以上利用する人は22.6%であるが、その他の公共交通利用は少なく、特にコミュニティバス・タクシーは、「ほとんど、あるいは全く利用しない」人が大多数を占める。

| 公共交通利用頻度 | 鉄道 | 路線バス | コミュニティバス | タクシー |
|------------------|-------|-------|----------|-------|
| 日常的に利用する | 17.9% | 6.3% | 1.0% | 0.5% |
| 週1~2回利用する | 4.7% | 4.1% | 0.0% | 0.5% |
| 月1~2回利用する | 19.3% | 9.2% | 4.1% | 4.3% |
| ほとんど、あるいは全く利用しない | 58.1% | 80.5% | 95.0% | 94.7% |

利用しない理由は、すべての公共交通において「利用する必要がない」「自家用車が使える」と回答する人がほとんど。
→本町の移動は自家用車に依存している傾向が強い。

外出時の交通手段

| 外出時の交通手段 | 通勤・通学 | 買い物 | 通院 | 公共施設 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 自分で車を運転 | 47.6% | 66.4% | 70.9% | 76.8% |
| 鉄道 | 39.7% | 13.1% | 5.8% | - |
| 路線バス | 2.5% | 2.9% | 1.6% | 0.8% |
| 家族等の車で送迎 | 4.0% | 11.3% | 11.0% | 8.2% |
| 徒歩 | 4.0% | 11.3% | 9.2% | 6.5% |
| コミュニティバス | 2.5% | 1.2% | 1.3% | 3.2% |
| タクシー | 1.5% | 1.4% | 1.8% | 1.3% |
| 自転車 | 7.0% | 9.4% | 10.2% | 9.1% |
| バイク | 2.5% | 3.1% | 1.6% | 3.0% |

※すべて行き帰りの手段の合計
 外出時の交通手段について、「自分で車を運転」する人がもっとも多い。
 通勤・通学時の交通手段では、鉄道利用も4割弱を占めたが、買い物・通院・公共施設利用時の交通手段では6割~8割を「自分で車を運転」が占めた。
 ただし、「家族等の車で送迎」と回答した人も一定数見られた（買い物：11.3%、通院：11.0%、公共施設：8.2%）。
→公共交通利用の潜在的需要が一定数あるとみられる。

調査結果の概要

広陵町の公共交通に関する住民アンケート調査結果(速報値)の概要について ②

デマンド型

●デマンド型交通の利用意向は低い

利用したいと思う人が14.1%に対し、利用しないと思う人は60.7%であり、デマンド型の利用意向は低い。利用したいと思う人の中では、「広陵元気号の運行を続けてほしい」と思う人は33.9%と最も多い。また、利用する予定の人の多くは「便利そうだから」と回答している(60.8%)。

●自家用車があれば不要と考える人が多い

利用しないと思う人の理由については、「自家用車や自転車等で移動するので必要ない」と回答した人が79.7%と大部分を占めた。他に、「予約の手間が面倒だから(20.7%)」「乗車時間が不規則だから(18.3%)」と、デマンド型特有の課題が窺える一方、「家族や知人が送迎してくれるから(18.3%)」の回答も多く、ここでも一定の潜在的需要を確認することができた。

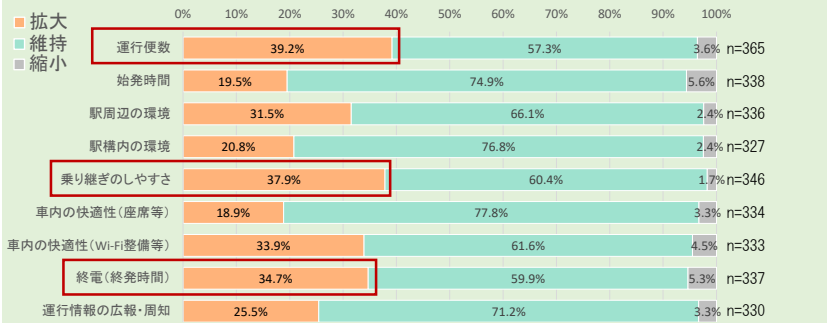
自家用有償旅客運送

●知らない人の運転する車に乗ることは抵抗があるが、考え方には賛成する人が多い

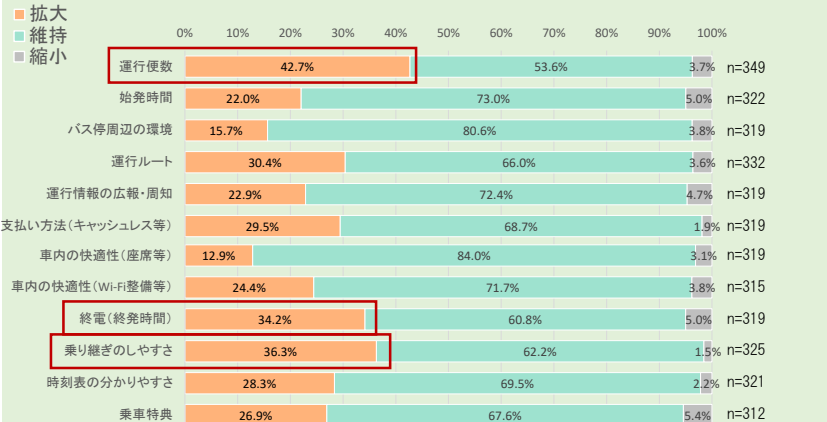
「考え方に賛成できない」は、全回答者中5.7%と少ない。ただし、「考え方には賛成するが、知らない人の運転する車に乗ることに抵抗がある」が49.5%を占めたが、「利用しやすければ、近所付き合いのない人や知らない人の運転する車であっても利用したい(16.7%)」との回答も一定数あり、自家用有償旅客運送の考え方自体には概ね賛成されている。

新たな公共交通

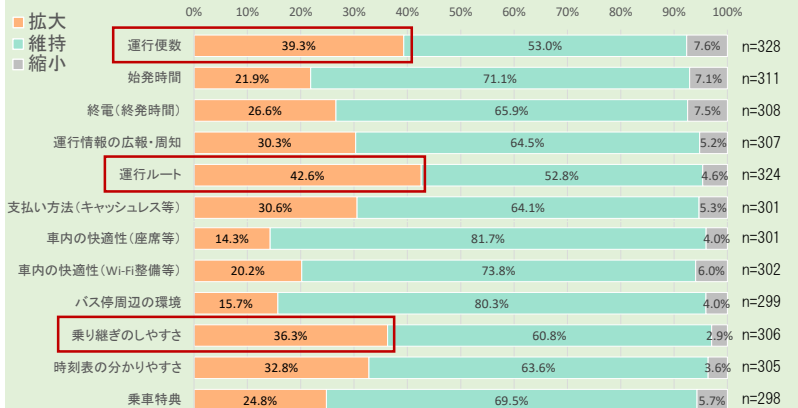
鉄道



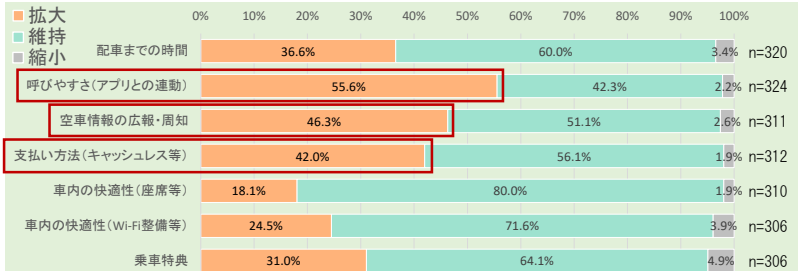
路線バス



コミュニティバス



タクシー



調査結果の概要

広陵町の公共交通のあり方

これからのあり方について、住民が「公共交通を維持する」意識を高め、積極的に利用することが重要だという回答が3割程度を占めた。